

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 教育活動は主力産業になり得る 野口 悠紀雄 (早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問)

1. 現在の日本が置かれている困難の原因を探れば、人材と教育の問題に行き当たらざるを得ない。教育が必要な第 1 の理由は、言うまでもなく、人材の育成が急務だからである。将来の日本経済の主力産業としていかなる産業を考えるにせよ、それを支える人材は、不可欠のものだ。
2. 日本は、江戸時代の藩校でエリート教育を行い、寺子屋で庶民の教育を行った。また、多数の私塾があった。これによって人材の質が高まっていたので、近代化・工業化がスムーズに実現できたのだ。また、明治政府の富国強兵政策の中で、帝国大学の整備は重要な比重を占めていた。これは、現代の開発途上国との大きな違いである。戦後の高度成長も、教育が支えた。日本の大学は、欧米の伝統的大学にはない工学部を持っていた。したがって有能な人材をエンジニアにすることができた。
3. ところが、日本の大学の工学部は「ハードからソフトへ」という 1980 年代以降の技術の大変化についていくことができなかった。さらに、ゆとり教育の影響やハングリー精神の喪失で勉学意欲がなくなり、基礎的学力が低下した。教育活動は、他産業に人材を供給するだけではない。それ自身が日本経済を支える主力産業になり得る。米英の高等教育は、経済活動が低下した 1970・80 年代においても継続的に強かった。先進国にとって、教育産業は比較優位産業なのである。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2012 年 12 月 22 日号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 長寿企業の条件

1. 周年記念を迎える会社は 13 万 5275 社。帝国データバンクの調べによると、10 年刻みの周年を 2013 年に迎える会社は、日本全国で 13 万社超に上るといふ。そのうち「100 周年」という大きな節目を迎えるのは 1425 社。上場会社では、ハウス食品や住友化学など 15 社しかない。
2. 周年企業の売上高を比較すると、長寿企業の条件が見えてくる。売上高 1 億円未満企業の比率は 10 周年では 60%に達するが、50 周年 51%、100 周年 42%と低下する。一方、売上高 10 億円以上企業の比率は、10 周年 5%だが、50 周年 9%で、100 周年になると 17%へと上昇する。売り上げ規模が小さいまま長寿を迎えるのは難しい。

(参考:「週刊東洋経済」: 2013 年 1 月 12 日号)

## 新規成長分野

### ミドリムシに期待が集まる

1. エネルギー問題を国内の資源で解決する動きが出ている。ミドリムシの油を抽出して作った「ユーグレナバイオオイル」の大量生産に向けた研究が進んでいる。ミドリムシは水と太陽光、二酸化炭素があれば成長するため、大量生産しても資源が枯渇しない。
2. ミドリムシは 59 種類ミネラルを含み、栄養価が高いため、健康食品の原料として使われ始めている。食から燃料まで、ミドリムシが日本を救う日が近い。そして、今後、日本がオイル原産国となるかもしれない。

(参考:「日経ビジネス」2012 年 12 月 24 日・31 日号)

## 古典に学ぶ

### 人間は物欲の奴隷になりやすい

「人情の弱点として、私欲の念よりややもすれば、富を先にして道義を後にする弊を生じ、過重の結果、金銭万能のごとく考えて、大切な精神上の問題を忘れて、物欲の奴隷となりやすいものである」

(解説) 人の心の弱点として「欲」があるので、どうしても道義よりも利益を優先させてしまいやすい。さらには、お金があれば何でもできると思い込み、大切な心を捨て去って、物欲の奴隷になりがちである。

(参考: 渋澤健「渋澤栄一 100 の訓言」) 日経ビジネス人文庫